

遠隔病理診断 ICT ネットワークの全国展開

【提案先】厚生労働省、内閣官房、内閣府

1. 提案内容

滋賀県において全県型遠隔病理診断ネットワーク基盤の整備が概ね完了

遠隔病理診断 ICT ネットワークの全国展開に向けて

(1) 全国的な推進体制（組織）の整備

- 精度管理、普及啓発、ネットワーク接続の資格認証

(2) 全国展開用システムの整備

- 県域（ブロック単位）のシステムおよび拠点施設の整備

(3) 人材育成

- 教育支援システムの構築（ネットワーク上で病理医や検査技師への教育支援）

(4) 診療報酬上での適正な評価

- 病理医の在宅診断の適正な評価（女性医師、退職医師の活用）

2. 提案の理由

① 全国において 2025 年に向けて、がん患者は増加

✓ 患者数	88 万例（2014 年）	↗	93 万例（2025 年）
✓ 病理診断件数	1,200 万件（2005 年）	↗	2,000 万件（2012 年）

② 全国的にがん診断に不可欠な病理医が不足



滋賀県で有効性実証

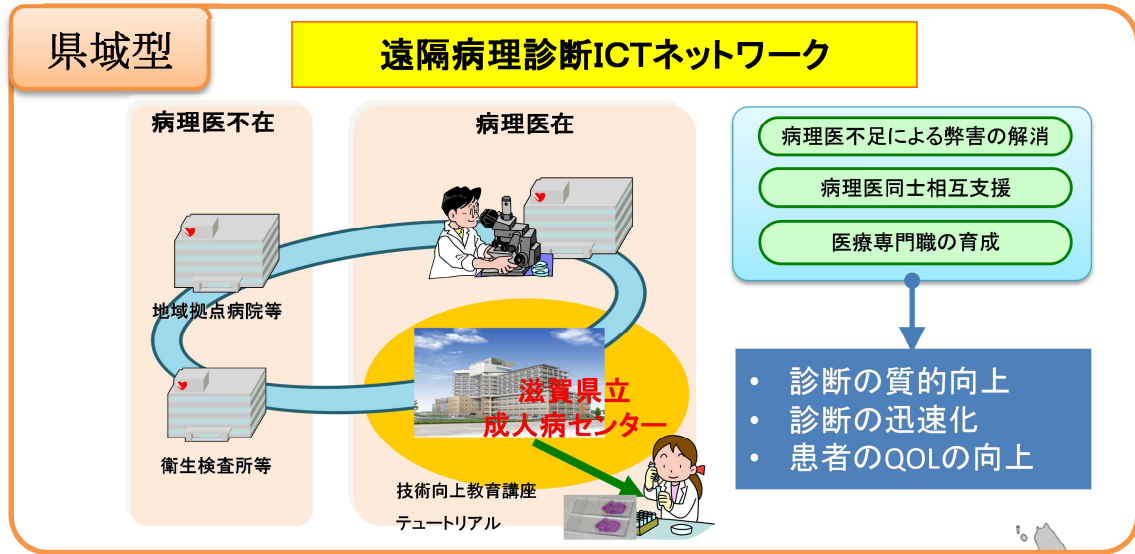
これらの課題の解決に向けて、本システムが極めて有効

- 全国の病理医不足を補完し、医療経済上も費用の低減化が可能
- 相互診断による病理診断の精度向上が図れ、高質な医療の提供が可能
- 病理診断に必要なとなる臨床検査技師の人材育成に寄与

本県の取組状況と今後の展開

○現状

全国初、滋賀県で全県型遠隔病理診断ネットワークの運用を開始



滋賀県モデルを 広域展開

- ネットワークの広域展開
- 全国的な推進基盤の整備

全国展開へ

○将来

全国型

